



第3号

「PMFを応援する会」会報

協奏

2011年6月21日

この度の「東日本大震災」で被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。
一日も早い復興をお祈り申し上げます。「PMFを応援する会」



「PMFを応援する会」 3度目の事業年度を迎えて

「PMFを応援する会」 会長 竹津宜男

「PMFを応援する会」はおかげさまで3度目の事業年度を迎えることが出来ました。2年目の2010年度では皆さまの熱く貴重なお志を（公財）PMF組織委員会へ寄付するだけにとどまらず、この会のもう1つの目的“市民がもっとPMFに親しむ”のために「PMFカフェ・サロン」を開催し100人を超える人たちとPMFについて語り合うことが出来ました。

今年3月11日には1000年に一度とも言われる「東日本大震災」を経験し、多くの尊い命を失い大勢の被災者が今も厳しい生活を強いられています。亡くなられた方々に心から哀悼の意を表します。

災害に遭われた方々、原発事故のために避難を強いられた方々など、どうぞ健康にお気をつけられて新しい希望の持てる時代に目を向けていただきたいと思います。4月15日の「PMF2011カフェ・サロン」で集まった義捐金は、PMF組織委員会がPMF会期中に呼びかける募金とともに日本赤十字社を通じて被災地へ届けられます。報道でも伝えられているように被災地の復興を願って日本中から、世界の国々から大きな支援の手が差し伸べられています。中でも被災地で演奏されたり、TVやラジオを通じて届けられる音楽が災害に打ちのめされた被災者の方々に大きな勇気と希望を与えている様子に、音楽の持つ力を今更のように認識いたしました。音楽は言葉の要らない世界言語と言われます。音楽は直接、精神に訴えて感動を分かち合うことが出来る文化です。PMFの理念「音楽を通じて世界平和に資する」を札幌で暮らして共学んだPMFアカデミーメンバーは世界平和のために世界の人達の心を繋ぐ大使となって活躍しています。

当会の今年度の事業計画と収支計画、寄付金の目標額などを4月の総会で決定しました。（別項）

これからもご支援いただいた皆さんと共に更にPMFを応援し、生活に潤いを与え、豊かな心で明るい明日を築いていく努力を続けたいと願っています。ありがとうございました。

市民からの「PMF募金」 組織委員会に80万円を寄付

PMFを応援するため市民から寄せられた「PMF募金」。この5月20日に（公財）PMF組織委員会（理事長・上田文雄札幌市長）に昨年度分として80万円を寄付いたしました。



贈呈には「PMFを応援する会」の竹津会長、須田事務局長らが市長室を訪問し、募金に際して寄せられた市民の方々の気持ちを上田理事長に紹介するとともに「会が活動して以来、募金件数の拡がりもあって、2回目（2年度目）の寄付ができます」と伝えました。対して理事長は「PMFカフェ・サロンなどPMFやアーティストと市民が近い関係にあることは良いことです」と寄付に感謝しました。

また「市民との交流は大切」と語り、「アカデミー生は（練習や公演で）タイトな日々ですが、かつてあったようにホームステイの日などが復活できるようにになれば、市民とのふれあいに加えて

SAPPOROの印象や情報をいっそう世界に発信できるのだが」と想いを吐露しました。席上、会では今年度の新規の「PMFカフェ・サロン」の計画なども紹介し「市民力」の熱い意思を強く訴えました。

PMFを愛する市民のつどい 「PMF2011カフェ・サロン」を開催



「（私は）役所という立場での仕事なので融通をつけられなく、トラブルが起こったりした」という悩みなど、それぞれの立場で未知の大事業の誕生に夢中で挑んだ姿が明かにされました。

「PMFを知ろう、遊ぼう、楽しもう」をテーマに、当会の呼びかけで「PMFボランティアハーモニー」「PMFミーティング」が実行委員会を組織し、「PMF2011カフェ・サロン」第1回を4月15日に札幌パークホテルで開催致しました。

当イベントは3月の東日本大震災のチャリティ企画の意味も持たせて会場で集まった募金を被災者へ贈ることになりました。以下、その模様をご紹介します。

まず、座談会「PMFのあゆみと今！」では関鎖京（北海道教育大岩見沢校 准教授）の司会で前川公美夫、熊谷ユリヤ、大平まゆみ、武井文夫、向井和恵、それに当会から会長 竹津宜男、事務局長 須田俊彦（以上敬称略）が出席。「PMFと市民とのかかわり」を考えようーとPMF草創期から関わってきた方々らに当時の苦労話やエピソードを披露して頂きました。登壇者からは「当時はピクニックコンサートについて、音楽愛好家からは『食べながらクラシックを聴くなんて失礼だ』などと、非難の声があがる時代でした」「この国際教育音楽祭が札幌に実現したのは奇蹟に近い出来事」「東洋と西洋の発想の違いや、運営者と音楽家の間にあって難しい調整を余儀なくされた」

また「今ではPMFが毎年、市立札幌病院などに（アウトリーチで）来てくれる。患者さんにも音楽の持つ力は希望となっている」「音楽もアートも最も“人間的”なもの。今こそ市民もボランティアも自分の気持ちに素直になって遊び、楽しみましょう。」「今回の大震災にしてもボランティアなど市民は大きな力を持っている」等々。

会場の参加者からは「かつてはアカデミー生をホームステイやホームビジットで受け入れた。こうした市民との交流も復活できないか」と希望が寄せられました。

次いで、PMF組織委員会からの「大震災があったが今年も予定通り開催します」という発表に、会場に軽いどよめきが起こるほど安堵感が広がりました。

最後に、PMF修了生の川本伸治・芝木謙子の演奏、そして昨年のおペラの出演者・下司（しもつか）貴大（以上敬称略）の熱唱に拍手が鳴り止みませんでした。

会場には、約120人の市民のご参加をいただきました。民をつなぐ架け橋となるべく、今後も様々な行事に取り組んでいきます。

平成 22 年度 (2010 年度) 報告

《「PMF を応援する会」平成 22 年度 事業報告》

(1) 募金活動

当会は PMF を世界に誇る札幌の芸術文化資産として益々 継続・発展させるため、市民による PMF 支援を行うことを目的に昨年度も活発な募金活動を行ってまいりました。「募金のお願い」文書等を作成し、演奏会などで広く配布致しました。特にそれまでに募金にご協力いただいた皆様に会報誌「協奏」(6月、12月発行)とともに、一斉 DM 発送に取り組みました。その結果、募金金額は残念ながら目標額に達せず、1,179,876 円にとどまりましたが、募金件数は合計 432 件に達し、前年を 40 件上回るなど、裾野の広がりを感じることができました。(資料 1)

(2) その他の活動

当会の目的を達成するため、広範な PMF を愛する市民と PMF とのつながりを一層強く、広くするために種々の活動を展開してまいりました。その主たる内容は以下の通りです。

- 1、4月12日 平成22年度定時総会開催
- 2、4月27日 平成21年度分寄付金贈呈
(金額100万円、札幌市役所市長室において PMF 組織委員会理事長の上田文雄市長に贈呈)
- 3、5月15日 「PMF を応援する会」ホームページ開設
- 4、6月14日 「PMF を応援する会」の会報「協奏」第1号発行、募金者へ発送
- 5、6月26日 募金寄付に対して上田理事長より感謝状授受(於 当会事務所「カフェ・ディ・レニー」)
- 6、8月1日 募金者との交流会「PMF 2010 ピクニックコンサートで会いましょう」を開催。
(於 札幌芸術の森アートホール)
- 7、12月13日 「協奏」第2号発行
- 8、定例役員会の開催(原則毎月1回)

¶資料 1 募金収入(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	30	29	65	79	48	21	23	34	45	29	3	26	432
金額 (円)	58,000	50,000	169,000	342,000	124,808	73,000	56,000	52,000	143,068	53,000	9,000	50,000	1,179,876

《「PMF を応援する会」平成 22 年度 会計報告》

収入は募金のみで計 1,179,876 円。支出は 270,890 円で主として払込費用負担金、通信・運送費、印刷費などである。この結果を受けて平成 22 年度分の(公財) PMF 組織委員会への寄付金額は 80 万円とした。

《「PMF を応援する会」平成 22 年度 監査報告》

平成 23 年 4 月 20 日に平成 22 年度(平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年度 3 月 31 日)業務及び会計の監査が広田聰監事、四ッ柳奈緒監事により行われた。募金状況、役員会の開催、自主事業の活動内容及び会計の収支決算、郵便口座現在高・現金、領収書等の関係書類を照合監査の結果、正確に処理されていることが認められた。

平成 23 年度 (2011 年度) 計画

《「PMF を応援する会」平成 23 年度 予算》

前年度の募金額に鑑み、今年度は 150 万円の募金収入を目標として活動する。当会の事業推進のため

の必要な経費を控除した資金を公益財団法人パシフィック・ミュージック・フェスティバル組織委員会に寄付するものとする。

《「PMF を応援する会」平成 23 年度 事業計画》

1、定例役員会の開催 (原則 毎月 1 回)

2、事業計画 2011 年度に計画している事業。

4 月 「PMF 2011 カフェ・サロン」 (第 1 回) (座談会、ミニ・コンサート他)

〈私たち市民の PMF・・・知ろう・遊ぼう・楽しもう!!〉 於 札幌パークホテル

4 月 平成 23 年度定時総会

5 月 (公財) PMF 組織委員会へ平成 22 年度寄付金贈呈

6 月 会報「協奏」第 3 号発行

7 月 「PMF 2011 カフェ・サロン」 (第 2 回) 於 札幌パークホテル

7 月 「PMF 2011 カフェ・サロン」 (第 3 回) 〈ピクニックコンサートで会いましょう〉

9 月 「PMF インセンティブセミナー」 グランドパートナー、旅行業、ホテル業、司会業、その他地元企業などを対象に開催

10 月 「PMF ニドムツアー」 ホテルニドムのパースタイン・メモリアルホールを訪ね、寄付者らとの交流会を実施

ご支援の輪に感謝!!

これからも PMF の発展のために皆さまとともに手をつなぎ PMF を応援します。

《募金者名》2010年4月1日～2011年3月31日 敬称略 五十音順

会津 やよい	稲葉 厚志	萩野 弘子	熊谷 テエ子	佐々木 勇美	飯訪 桂子	土田 明美	花井 美恵子	里野 慶子	村上 一樹
青木 淳子	井上 俊司	押野 裕子	倉岡 修子	佐々木 佐与子	関野 登子	土田 孝子	華崎 徳治	細川 弘敏	村上 千穂
青木 道子	井上 睦子	小田 浩之	栗林 千矢人	佐々木 静栄	関口 久寿	土田 成美	羽生 聖子	本田 昌子	百村 豊吉
赤石 尚一	井上 裕介	小田 美保子	栗林 康	佐々木 美千子	瀬戸 悦代	土田 裕	早川 治男	本間 せつ子	門田 和江
赤石 知恵子	猪熊 セン子	越智 香奈江	栗原 文千代	佐々木 満	仙波 仁志	土田 美佐子	早川 ひろみ	本間 二子	矢田 美奈子
芥川 有加	今井 律子	越智 満	小池 明夫	佐々木 政彦	高垣 良子	土田 好恵	原子 修	本間 雅代	山口 美和子
阿部 英子	今泉 寛子	越智 美代子	小池 みちこ	佐藤 至子	高垣 良平	坪井 大輔	原田 尚子	益田 良昭	山崎 アヤ子
阿部 佳子	岩崎 漢子	小野 サダ子	小泉 由美子	佐藤 郁夫	高島 勝子	鶴岡 匡徳	坂東 澄子	益田 遙	山崎 均
阿部 千秋	岩田 素子	小野 美代子	小出 富士子	佐藤 修子	高橋 京子	天日 彰子	平井 悦子	増田 雅子	山田 政光
雨貝 尚子	岩野 美穂	小野 洋子	合田 由紀子	佐藤 隆	高橋 久美子	天日 一光	平井 朋子	松井 彰子	山中 三知
天野 晶吉	氏家 公子	大間知 亜紀	小島 美代子	佐藤 隆	高橋 久美子	富樫 清	平田 征子	松井 寛	山中 幸光
荒谷 留理子	氏家 武	表山 千春	小島 弘子	佐藤 信行	高橋 健次	徳永 純子	平野 美和子	松尾 宏	山原 和恵
飯塚 敬子	氏家 なま	加々谷 玲子	後藤 至	佐藤 はるみ	高橋 賢治	徳永 隆史	平松 久美子	松川 早苗	湯原 光子
井内 祐	内柴 香緒理	畑田 恒子	後藤 道	佐藤 真紀子	高橋 州江子	富田 啓子	廣瀬 キミ子	松川 博	横山 圭子
井浦 功雄	紫花 真理	片山 ミサオ	後藤 淳子	佐藤 誠	高橋 久恵	富田 美紀子	廣瀬 キミ子	松本 紀美子	横山 真
五十嵐 幸	姫名 松子	且股 典子	後藤 まさ	佐藤 八重子	高橋 実規子	戸谷 真智子	広田 一郎	松田 悦子	吉田 武好
猪狩 美津子	遠藤 和子	加藤 静江	小西 敦子	佐藤 佳子	高橋 佑里	直江 宣之	広田 聡	松田 しづ子	吉田 信子
池田 静子	遠藤 茂	加藤 史子	小林 和子	澤口 恵子	高橋 来	広田 美貴子	広田 美貴子	高橋 来	吉田 ひろ子
池田 純子	及川 節子	金丸 梅美	小栗川 路子	澤田 文子	高村 桂子	永田 満智子	福島 康則	福島 康則	吉田 祐一
池田 泰蔵	及川 由美子	金谷 真木子	小原 孝子	塩津 正樹	田熊 悦子	中前 祝子	福本 順子	福本 順子	米谷 秀
池田 弘	大上 貴子	金子 詩生	近藤 千鶴子	重延 久美子	竹津 香苗	中前 至美	福本 順子	福本 順子	米谷 弘文
池津 真理	大久保 玲子	金子 真理子	紺野 恵美子	柴田 千賀子	竹津 秀隆	中村 隆志	藤井 和義	藤井 和義	若月 香織
池野 千枝	大澤 久子	梅澤 京子	西條 雅穂子	滝谷 優佳・光一	竹津 正士	中村 千賀子	藤井 正一	藤井 正一	若月 香織
池本 光博	大城戸 瑞子	才田 雅美	才田 雅美	嶋 亜希子	竹津 宜男	中村 孝行	藤井 倫子	藤井 倫子	若月 香織
石井 恵	大角 恭子	斉藤 愛子	清水 貴子	清水 貴子	竹花 愛	中村 敬江	藤井 亮子	藤井 亮子	若月 香織
石井 安子	太田 知恵美	斎藤 昭夫	下川 弘子	下川 弘子	田中 義具	中村 浩	藤岡 かつり	藤岡 かつり	若月 香織
石岡 奈緒美	太田 富美子	齋藤 永	菅原 秀明	菅原 秀明	田中 定信	中村 まり絵	藤岡 雅	藤岡 雅	若月 香織
石掛 恵子	大高 幸ゆみ	齊藤 和江	杉浦 民子	杉浦 民子	田中 笙子	中山 彪	藤川 徳子	藤川 徳子	若月 香織
石神 博子	大谷 慎一	齊藤 克幸	川上 光二郎	川上 光二郎	田中 秀実	中山 豊	伏木 忠了	伏木 忠了	若月 香織
石川 修一	大谷 洋子	齊藤 牙	川越 悦子	川越 悦子	田中 誠	名取 章	伏木 真美子	伏木 真美子	若月 香織
石田 安貴良	大友 武勝	齊藤 留子	河島 瑛子	河島 瑛子	田中 真砂枝	鍋田 多美子	藤田 悦子	藤田 悦子	若月 香織
石田 時也	大友 三紀子	齊藤 千代	川瀬 弘	川瀬 弘	杉本 純子	鍋田 幸子	藤田 幸子	藤田 幸子	若月 香織
石橋 喜重子	大西 久恵	齊藤 真	河部 宣子	河部 宣子	杉本 猛	田中 洋子	藤田 慶一	藤田 慶一	若月 香織
磯田 憲和	大場 豊彦	齊藤 真	河部 宣子	河部 宣子	鈴木 喬	田辺 啓留	藤田 澄江	藤田 澄江	若月 香織
一色 晴子	大矢 和史	齊藤 真理	神林 一恵	神林 一恵	鈴木 泉一	谷口 哲雄	藤田 秀雄	藤田 秀雄	若月 香織
井出口 雅明	大原 恵子	齊藤 真理	神林 正恵	神林 正恵	鈴木 のり子	田増 哲夫	藤田 美音子	藤田 美音子	若月 香織
伊藤 一雄	大和田 勝弘	齊藤 美登里	岸地 まみ子	岸地 まみ子	鈴木 久恵	玉置 素子	藤村 智子	藤村 智子	若月 香織
伊藤 匡哉	大和田 登喜子	齊藤 龍平	岸地 まみ子	岸地 まみ子	鈴木 美智子	玉置 素子	藤村 智子	藤村 智子	若月 香織
伊藤 龍子	岡崎 喜美	齊藤 龍平	岸地 まみ子	岸地 まみ子	鈴木 ミユキ	玉置 素子	藤村 智子	藤村 智子	若月 香織
伊藤 祐子	岡崎 喜美	齊藤 龍平	岸地 まみ子	岸地 まみ子	鈴木 陽子	玉置 素子	藤村 智子	藤村 智子	若月 香織
伊藤 敬子	岡崎 喜美	齊藤 龍平	岸地 まみ子	岸地 まみ子	鈴木 陽子	玉置 素子	藤村 智子	藤村 智子	若月 香織
伊藤 光湖	岡崎 喜美	齊藤 龍平	岸地 まみ子	岸地 まみ子	鈴木 陽子	玉置 素子	藤村 智子	藤村 智子	若月 香織
伊藤 大三	岡崎 喜美	齊藤 龍平	岸地 まみ子	岸地 まみ子	鈴木 陽子	玉置 素子	藤村 智子	藤村 智子	若月 香織
稲垣 浩司	岡崎 喜美	齊藤 龍平	岸地 まみ子	岸地 まみ子	鈴木 陽子	玉置 素子	藤村 智子	藤村 智子	若月 香織

(お名前のお読み方が間違っていましたらお許し下さい。)

「PMFを応援する会」主催
PMF2011カフェ、サロン 第2回
私たち市民のPMF!!



対談「動物と文化」と音楽と!

旭山動物園園長 坂東 元さん
 北海道文化財団理事長 磯田憲一さん

— 震災後の私たちにとって大切なもの それは人・地域・心の文化 —

📅 **日 時** 7月14日(木) 午後3時～5時 📍 **会 場** 札幌パークホテル 2階「パールルーム」

📄 **参加費** 1,000円 (茶菓代含む。当日会場受付にてお支払い下さい)

📄 **申し込み・お問い合わせ**は「PMFを応援する会」まで

Fax : 011-827-5181 (参加される代表の方のお名前、ご住所、電話番号、参加人数を記入)

ホームページからも申し込みが出来ます。「PMFを応援する会」で

📄 **定 員** 先着100名様 📄 **申し込み締め切り** 7月10日まで

ト 寄付贈呈にPMF組織委員会から感謝状 ト

当会はPMFに声援を送る市民の「PMF募金」による寄付金を5月に(公財)PMF組織委員会に贈呈しましたが、上田文雄理事長(札幌市長)から2年連続(2回目)の感謝状をいただきました。感謝状には札幌芸術の森でのPMFコンサートのカラー写真が添付されています。当会ではこれを当会事務所「caffe di Lenny」(札幌芸術の森 入り口前)に展示しますが、お立ち寄りいただき、パーンスタイン(Lenny)の大写真とともにご覧ください。(月曜は定休日につき休館)



♪ Scramble Shot

「応援する会フェロー」の登録開始

当会は、活動のさらなる飛躍をめざして「応援する会フェロー」を登録し、PMFを愛する仲間を広げることに踏み出しました。

フェローとは「役員ではないが、本会の業務の遂行に当たり、役員会と一体となって支援する者」(会則)として、具体的な活動では、毎年の事業計画などの取り組みにおいて

- (1) 「PMF募金」の拡大や促進
- (2) 各種・個々のイベント実施や日常業務で、協力していただける方々です。

本会では、さっそく順次フェローの登録を始めましたが、ふるってのお問い合わせを歓迎いたします。

(註) フェロー (fellow) : 仲間・友達・同僚の意味。

♪ Scramble Shot

「PMFを応援する会」ホームページから

証言～PMFの軌跡と未来へ～ 第2部

竹津 宜男

が連載スタートしました。

好評裡のうちに終了した、PMF草創期の出来事をエピソードで綴った「証言～PMFの軌跡と未来へ」の第2部があらたにスタートしました。当会の会長で元PMF組織委員会オペレーティングディレクターの筆者がその貴重な記録を証言。是非、ご覧下さい。

<http://pmf-support.main.jp/>

「PMF2011 カフェ・サロン」第3回
ピクニックコンサートで会いましょう
7月31日(日) 札幌芸術の森アートホール1Fロビー
13:00～17:00

募金をお寄せいただいた皆さまと交流し、PMFについて語り
 会いましょう。お茶の用意をしてお待ちしております。
 ピクニックコンサートの合間にどうぞお立ち寄り下さい。

† 募金者からの応援メッセージ †

私の愛するPMF (敬称略)

「アカデミー生の笑顔は宝物」 栗林 由佳 (「PMFを応援する会」フェロー)

3年前より日本文化を紹介する企画ボランティアで、仲間と一緒に折り紙で音譜や桜や鶴をアカデミー生たちと一緒に折り、色画用紙に貼ってメッセージカードを作成してきました。遠い故郷の大切な家族や友人たちのために、作業の途中で自国の様子をつぶさに語りながら見せてくれる彼らのあどけない笑顔は楽器を手にした時とはまるで別人。奏でる素晴らしい音楽同様、その笑顔は私にとっては宝物です。私は花を活けることを本業としていますが、「音楽は“花”にも似ています。武器や大砲の傍らに花を置くと、そこには戦いではなく愛が生まれます」というリカルド・ムーティーが語ったメッセージを痛感する毎日です。東日本大震災の爪跡が深く残る今年のPMFで、彼らの音楽とこぼれるような笑顔に再び会えることを楽しみにしています。

「ささやかですが応援しています」 神林 一恵

PMFには札幌の街が良く似合うと思います。豊かな自然とそこに暮らす人の暖かな応援の心が気負いなく存在しているように思うからです。アカデミー生が札幌で過ごす日々は忘れ難いものでしょう。米寿も近い年となり演奏会をテレビで楽しむことが多くなりましたが、真剣なまなざしで演奏する姿に出会うと元気がでてきます。PMFをまだ知らない人に会うと残念で一生懸命説明しています。PMFが札幌で開催されることになった不思議なご縁に感謝し、永く続く音楽祭でありますように願っております。「PMFを応援する会」の皆さまのご健闘を心からお祈りしております。

「躍動するPMFオーケストラ」 奥村 昇

私が大阪から札幌に移住する前、ゲルギエフ指揮のPMFオーケストラ大阪公演で、ショスタコヴィッチの交響曲を聴いた時、その演奏の素晴らしさに感嘆したのを今でもハッキリ覚えています。海外の一流オーケストラの日本公演に比べて、日本のオーケストラの余りにも不甲斐ない演奏(唯一の例外はサイトウキネン・オーケストラ)に不満だった私に、この演奏は、若くても或る程度の技量のある奏者を、真に優れた指揮者が彼等の能力を最大に引き出した時、最高レベルのオーケストラの演奏が可能なる事を知りました。6年前から札幌に移住した私は、少なくとも年に1回はPMFで素晴らしいオーケストラの演奏を聴く事が出来る喜びを感謝しています。

「熱く応援を……」 佐藤 隆

若い頃から体育系だった私は、PMFが札幌に来た頃から海外旅行に出かけるようになったせいもあって、クラシック音楽の醸し出す情景を多少なりとも理解できるようになり、自宅でCDを楽しむようになった。体育系としては、もう少し老いてからインドアの楽しみとしてPMFを考えていたが、退職後たまたま「応援する会」に誘われてPMFに親しむようになったが、まだまだ愛し始めて間もない私であります。それ故に参加される若手音楽家の情熱に負けないよう、応援する思いは熱く持っているつもりです。どうかこの素晴らしいフェスティバルが、札幌の文化としてしっかり次世代に引き継がれるよう、関係者の皆さんの更なるご健闘を心からお祈りしています。

「PMF それは札幌の夏のエッセンス」 樺沢 京子

札幌の夏の訪れを告げるPMFを毎年心待ちにしている一札幌市民です。近年、この国際教育音楽祭が札幌で開催されていることが道内外に認知され、親しまれるようになったことは何よりも嬉しいことです。最近ではコンサートを楽しむ以外に「PMF Meeting」や「PMFを応援する会」のカフェ・サロンにも参加する機会を得て、七夕の織姫彦星のようにPMF開始時から縁を紡いでいる方々と共に、年に一度の集いを楽しく過ごしています。Kitaraのコンサートは勿論、かつて体験したタングルウッドのように芝生の上でのピクニックコンサートも、自然の中で風のそよぎや木々のささやきと鳥のさえずりをセッションの一員として、私たち観客も一体となれる夏の日を今年も楽しみにしています。

発行 PMFを応援する会

〒005-0854

札幌市南区常磐4条2丁目17-13

「カフェ・ディ・レニー」内

FAX: 011-827-5181

お問い合わせ

080-6064-7811 (夜6時以降)

印刷協力 株式会社マルシン

編集後記

あの大震災を期に日本人の多くが、今までよりも他人の悲しみに少し敏感で、少し涙もろくなったような気がします。あの日から日本列島におびただしい涙が流れました。復興の光明はまだ見えないけれど、そしていまだ数え切れないほどのたくさんの人々の悲しみが癒されてはいないけれど、その被災者の方々へ世界中から鎮魂の祈りとともに希望をつむぐ音楽が捧げられています。間もなく2011年のPMFがやってきます。PMFの調べが復興と希望の灯りをともしことを期待してその開幕を迎えたい。(ち)